

今回の開通による主な効果

効果 1

豊見城東道路の交通混雑緩和

- ◆ 那覇空港自動車道については、南風原道路（南風原南 IC～西原JCT）が九州・沖縄サミットにあわせ平成12年に4車線で、また、豊見城東道路が、平成19年度までに豊見城・名嘉地IC～南風原南 ICの全線暫定2車線で開通しました。
- ◆ しかしながら、豊見城東道路区間については、暫定2車線による開通のため、南風原南 IC周辺において、慢性的な渋滞が発生しています。
- ◆ 今回の4車線開通により南風原南 IC周辺の交通混雑の緩和が期待されます。

効果 2

周辺道路の交通混雑緩和

- ◆ 那覇都市圏は、全国でも交通混雑が著しい地域となっており、特に那覇市内の平日混雑時平均旅行速度は全国ワースト1位となっています。（H22センサス）
- ◆ 那覇空港自動車道は、那覇都市圏の環状道路として位置づけられており、豊見城東道路の4車線化により那覇都市圏の交通混雑の緩和が期待されます。

効果 3

時間短縮

- ◆ 豊見城東道路は、那覇空港自動車道の一部を形成し、沖縄自動車道と接続し、沖縄本島の各拠点を連絡し、那覇空港へのアクセス性向上に資する高規格幹線道路です。
- ◆ 豊見城IC～南風原南 ICの4車線開通に伴い、走行性の向上が図られ、より一層、空港へのアクセス性の向上や県内主要観光施設等への移動時間の短縮等が期待されます。

▼南風原南 IC付近の交通混雑（豊見城東方向撮影）▼豊見城IC付近の交通混雑（平良CCTV画像）

